

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【公開番号】特開2006-114974(P2006-114974A)

【公開日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-017

【出願番号】特願2004-297668(P2004-297668)

【国際特許分類】

H 03 B 5/32 (2006.01)

【F I】

H 03 B 5/32 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月31日(2006.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外部からの制御電圧に応じて容量値が変化する可変容量手段を備えた電圧制御型圧電発振器であって、

前記可変容量手段は、第1の可変容量ダイオードと、該第1の可変容量ダイオードと並列に接続された第1のコンデンサと、第2の可変容量ダイオードと、前記第1の可変容量ダイオードのカソードと第2の可変容量ダイオードのアノードとの間に挿入接続された第2のコンデンサと、前記第1の可変容量ダイオードのアノードと第2の可変容量ダイオードのカソードとの間に挿入接続された第3のコンデンサとを備えており、前記外部制御電圧を前記第1の可変容量ダイオードと第2の可変容量ダイオードに対してそれぞれ極性が逆向きとなるように印加したものを特徴とする電圧制御型圧電発振器。

【請求項2】

前記第1の可変容量ダイオードとして、複数の可変容量ダイオードを並列接続したもの用いたことを特徴とする請求項1に記載の電圧制御型圧電発振器。

【請求項3】

前記第2の可変容量ダイオードとして、複数の可変容量ダイオードを並列接続したもの用いたことを特徴とする請求項1又は2に記載の電圧制御型圧電発振器。

【請求項4】

前記第1の可変容量ダイオードに、更に可変容量ダイオードを直列接続したことを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の電圧制御型圧電発振器。

【請求項5】

前記第2の可変容量ダイオードに、更に可変容量ダイオードを直列接続したことを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の電圧制御型圧電発振器。